

平成20年度版「ごみカレンダー」のご活用を

左の紙面に「家庭ごみの出し方」、右の紙面に「家庭ごみ収集日程表」を記載した、通称「ごみカレンダー」を広報とわだ3月号と一緒に配布いたしました。1年間保存し、ごみの出し方、分別、日程などの確認にご活用ください。

また、一緒に配布した「ごみ分類表」はごみを出すときの参考とし、次回の発行（5年後の予定）まで保存してご利用ください。

（生活環境課・市民課窓口にも備え付けています）



ペットボトルの対象がふえます

容器包装リサイクル法の改正に伴い、平成20年4月から「ペットボトル」の対象が拡大されます。これまでの「食料品（しょうゆ、乳飲料など）、清涼飲料、酒類」に加え、しょうゆ加工品、みりん風調味料、食酢、調味酢、ドレッシングタイプ調味料（食用油脂を含まないもの）の5品目が追加されます。ラベルやボトルの底の「PET」マークを確認して分別してください。



<ご注意ください>

ペットボトルに限らず、すべての資源ごみについては、水洗いで落ちない汚れや臭いがある場合、「燃えるごみ」や「燃えないごみ」になります。



家庭でできる温暖化対策

「知っている」を「している？」

地球温暖化や大気汚染などの原因には、石油や電気などによるエネルギーの大量消費が指摘され、「省エネ」「エコライフ」などの言葉もよく耳にします。ところが、「知っている」けれども、面倒だったり習慣だったり「していない」ことも多いのではないのでしょうか。

普段から関心を持って「していく」ことで、環境にも家計にもやさしくできます。

1. 『室温設定は1℃調節して』

暖房では、設定を21℃から1℃下げて1時間早く止めると2,180円の節約。暖まった空気を扇風機で循環させたり、1枚多く身に着けることでも暖かさが違います。

2. 『待機電力からオフ』

テレビは主電源を切る、長時間使わないものはコンセントから抜く。

待機電力50%カットで3,390円の節約になります。

3. 『保温は電力を消費』

ご飯は電子ジャーで保温せずに電子レンジで温め直すと2,450円の節約。電気ポットも保温しないで再沸騰を活用して2,360円の節約になります。

4. 『詰め込み過ぎず…』

冷蔵庫には詰め込み過ぎない（960円）、開閉を少なく（360円）、設定温度を強から中に（1,360円）、壁との間隔を適切に（990円）、合わせて3,670円の節約。

暖かいものはさましてから冷蔵庫に。

5. 『下ごしらえにも』

電子レンジを野菜の下ごしらえに利用すると、ガスコンロで煮るより980円の節約になります。

調理時間やビタミンの流出も少なくできそう。

6. 『車のエアコン』

エアコンを作動させると、燃費悪化が10%とも20%ともいわれています。習慣的にスイッチを入れっぱなしにせず、状況を見極めた利用を。

登坂のときにオフにするとパワーも確保できます。

など、見回してみると、まだまだたくさんありそうですね。

※節約金額は、1年当たりの概算額です。節約効果の目安としてください。



問い合わせ先

生活環境課 (☎25111内線225・226)